

羽生市立手子林小学校

道徳科

主題名「より高い目標に向かって」 第5学年



授業の様子から(授業の観てほしいポイントを踏まえ)

「私の授業の観てほしいポイント」

- ① 自作の教材の活用
- ② ワークシート
- ③ 板書の工夫



<校内で参観した教員から>

- 「すごい人だから」となりがちだが、「1番身近な人」の経験から身近に考えることができていた。
- 教師と児童との1対1でのやりとりでなく、児童間の意見の交流ができていたので、一人一人の考えが深まっていた。
- 児童のよいつぶやきを拾い発問したり、切り返したりする教師の働きかけがあってよかった。
- 「努力はむだか、むだではないか」だけではなく、心情メーターで表すのもよいのではないか。
- 児童の発言が生かされた板書になっていた。
- 支持的な信頼関係が構築されており、温かい雰囲気で行われていた。

指導者から

- 内村選手を知らない児童にとって、ICTを活用した紹介（内村選手の演技・「じゆうちょう」）が効果的であった。
- 自作の教材を活用したことにより、「教材を」教えることから「教材で」教えることにつながり、価値への理解が深まった。本教材と自己開示した教師の説話が児童の心に説得力をもって響いたのではないか。
- ワークシートに理由を書く欄があったが、自分の考えの根拠になるのでよかった。
- 感染拡大防止のため、フェイスシールドを使用しての話合いであったがスムーズに行っていた。